

SQL Anyware

概要

色々な種類のデータベースを、複雑な SQL を組まなくても、エクセルで修正するような操作感覚でデータ編集できます。

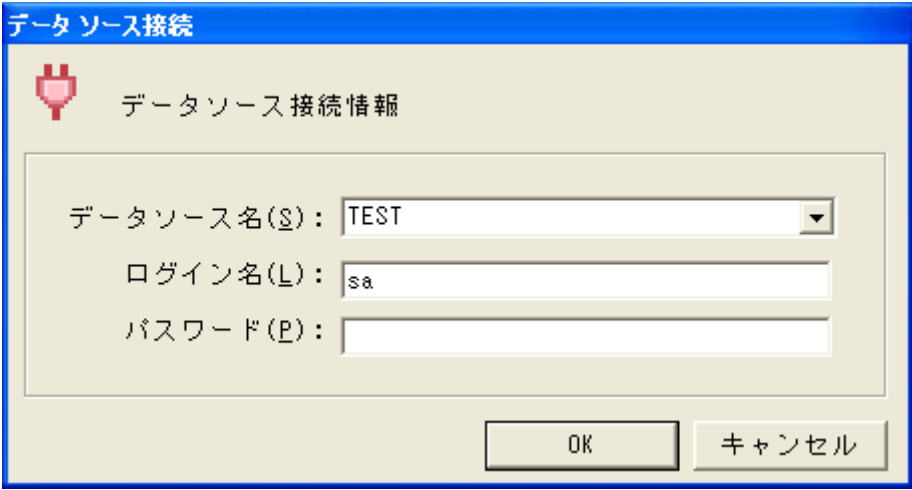
SELECT 句の実行結果を、エクセルに展開することも可能です。

入力した SQL は、テキストファイルとして保存することができ、次回起動時にそれらのファイルを開いて使用することもできます。

ユーザー環境における障害調査、及び障害復旧ツールとしてもご利用いただけます。

処理手順

本ソフトウェアを起動すると、「データ ソース接続」画面が表示されます。「データ ソース接続」画面より、接続したいデータ ソースを選択します。



データ ソース名

一覧に表示された ODBC 接続データ ソース名から接続するデータ ソースを選択します。

ログイン名

選択したデータ ソースに接続するユーザーID を入力します。

パスワード

選択したデータ ソースに接続するためのパスワードを入力します。

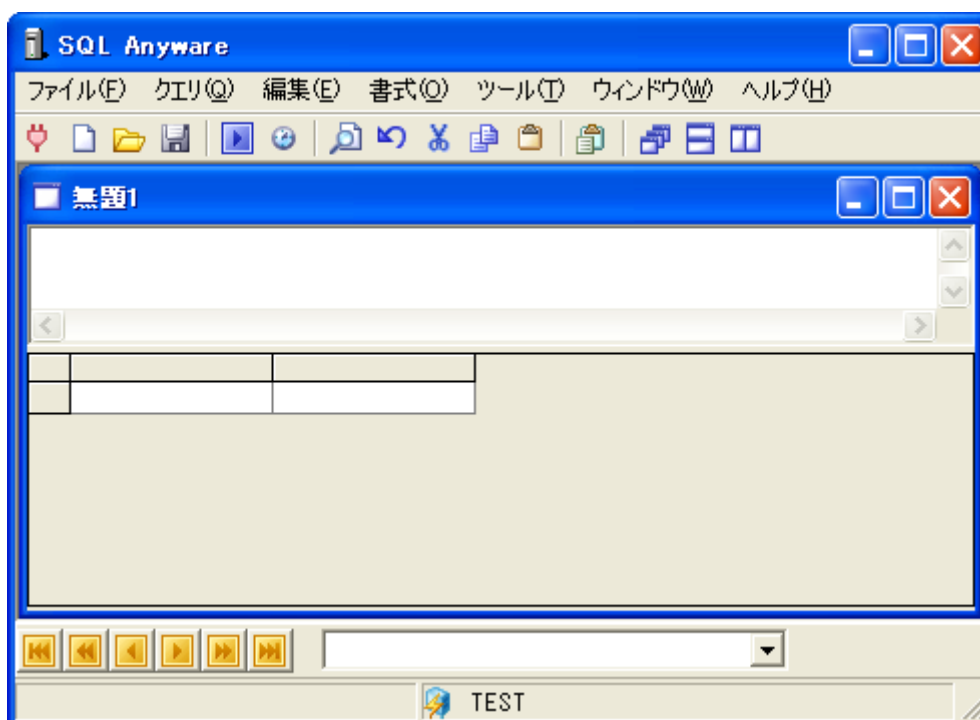
OK

入力したデータ ソース接続情報でデータ ソースに接続し、メイン画面を表示します。

キャンセル

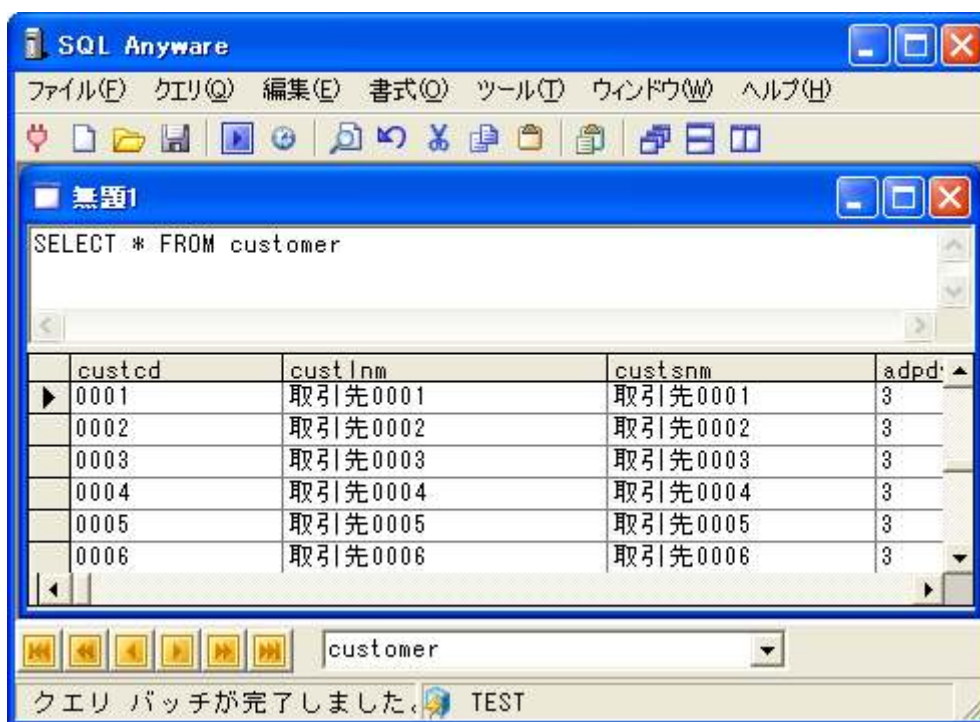
何もせずに「データ ソース接続」画面を表示します。

「データ ソース接続」画面でデータ ソースに接続したら、下の画面が表示されます。
(以降、メイン画面と呼びます)



画面下部のステータスバーには、現在接続中のデータ ソース名が表示されます。

メイン画面上部のテキスト入力欄に **SQL** を入力し、メニューバーの「クエリ(Q)」 – 「実行(R)」を選択、もしくはツールバーの「実行」ボタンをクリックすると、入力した **SQL** が実行されます。**SQL** が結果セットを伴う場合、実行結果が画面下部のグリッド欄に表示されます。グリッド欄に表示されたデータは、アクセスのような感覚でデータを編集することができます。

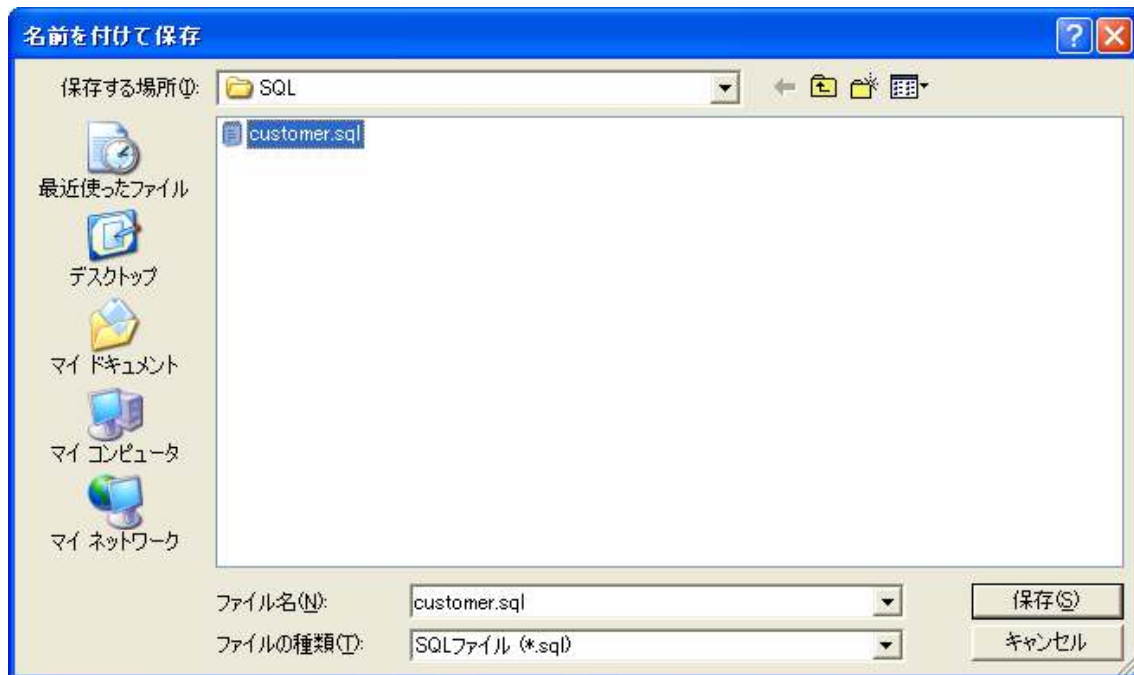


また、SQL Server のデータ ソースに接続した場合、画面上部に現在接続しているデータ ソース内の全テーブル名を列挙したコンボボックスが表示されます。このコンボボックスより参照したいテーブル名を選択すると、自動的にテキスト入力欄に選択したテーブルの SELECT 文が表示されます。

その他の操作について

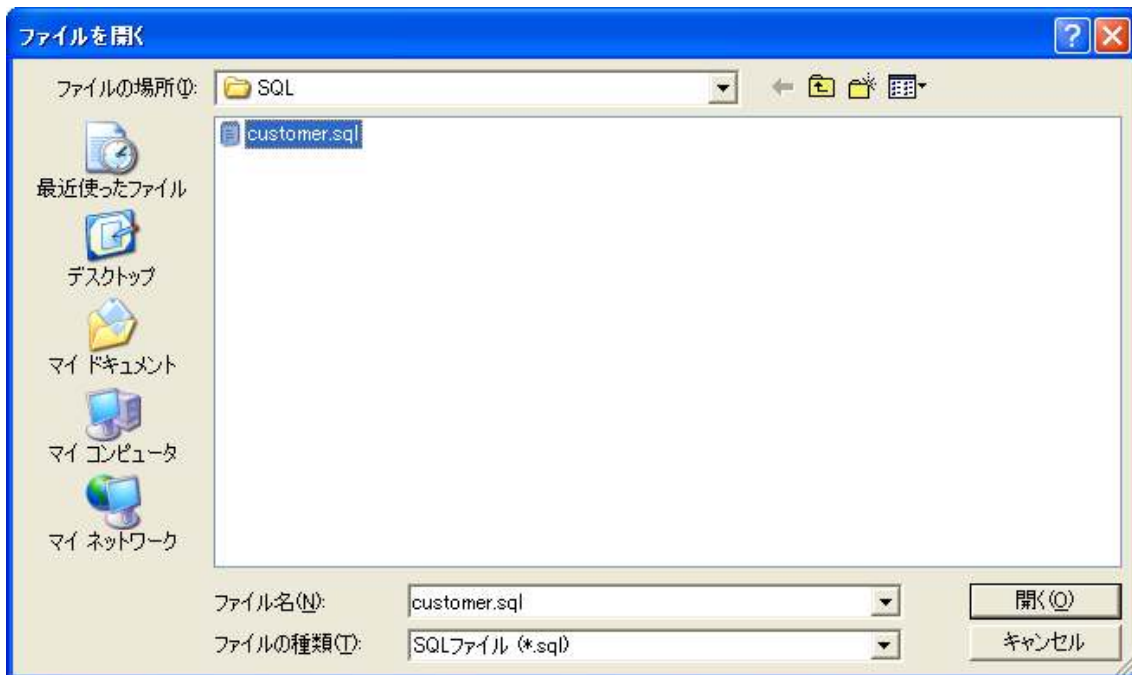
① テキスト入力欄に入力した SQL の保存について

メニューバーの「ファイル(F)」－「保存(S)」を選択、もしくはツールバーの「保存」ボタンをクリックすると、テキスト入力欄に入力した SQL の内容を指定のディレクトリにテキスト保存することができます。



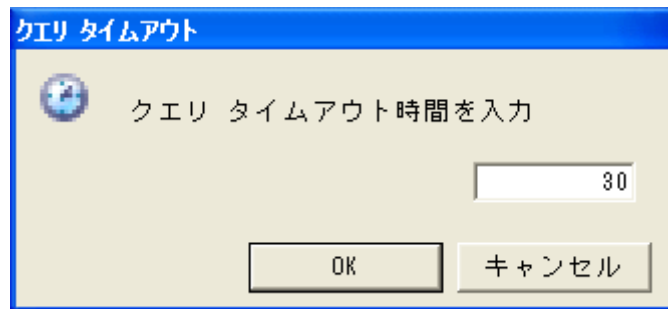
② 保存した SQL をテキスト入力欄に反映するには

保存した SQL をテキスト入力欄に反映するには、メニューバーの「ファイル(F)」－「開く(O)」を選択、もしくはツールバーの「開く」ボタンをクリックすることで表示される「ファイルを開く」共通ダイアログで、SQL を記述したテキストファイルを開きます。



③ クエリ タイムアウトの設定について

クエリのタイムアウトを設定するには、メニューバーの「クエリ(Q)」－「クエリ タイムアウト(T)」を選択することで表示される「クエリ タイムアウト設定」画面に行きます。



クエリ タイムアウト

クエリのタイムアウトを秒単位で設定します。

OK

入力したクエリ タイムアウトを反映し、「クエリ タイムアウト」画面を閉じます。

キャンセル

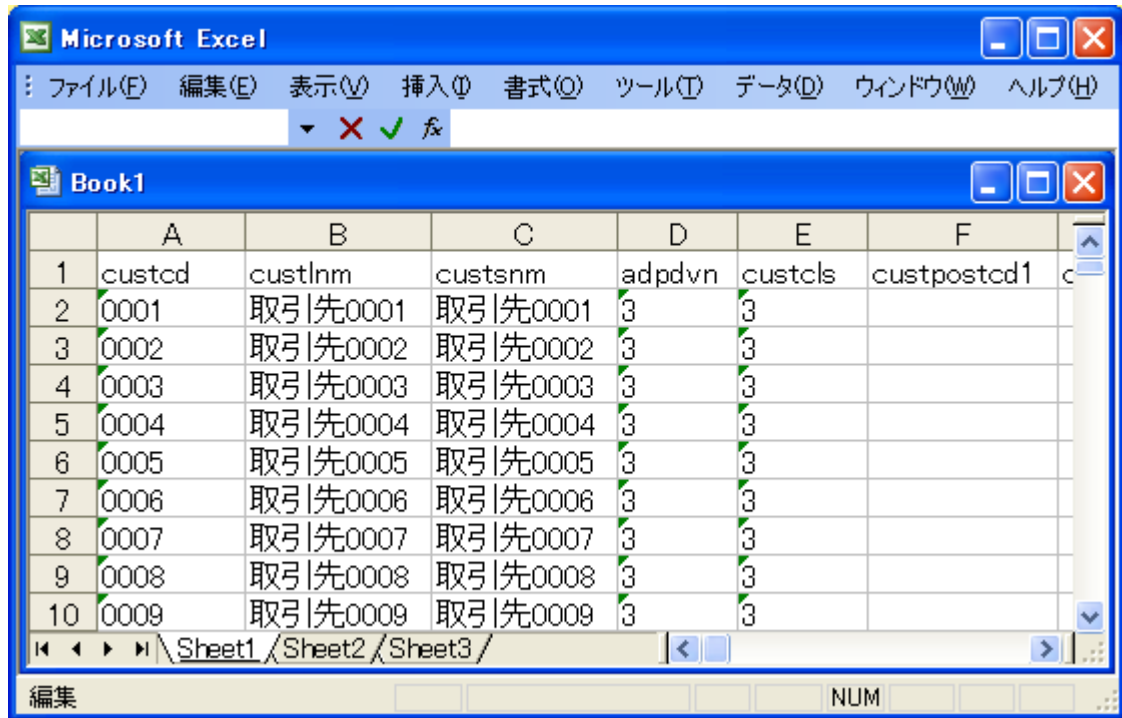
何もせずに「クエリ タイムアウト」画面を閉じます。

④ データ ソース接続先の再設定について

メニューバーの「ファイル(F)」－「データ ソース接続(C)」を選択、もしくはツールバーの「データ ソース接続」ボタンをクリックすると、画面起動時に表示された「データ ソース接続」画面が表示されるので、データ ソース接続先を再設定することができます。

⑤ 実行結果をエクセルに出力するには

メニューバーの「ツール(T)」－「エクセルに貼り付け(E)」を選択、もしくはツールバーの「エクセルに貼り付け」ボタンをクリックすると、テキスト入力欄に入力した SQL の実行結果をエクセルに出力します。



The screenshot shows a Microsoft Excel window titled 'Book1'. The menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', '表示(V)', '挿入(I)', '書式(O)', 'ツール(T)', 'データ(D)', 'ウィンドウ(W)', and 'ヘルプ(H)'. The toolbar shows icons for undo, redo, and formula. The spreadsheet contains a table with 7 columns: A (custcd), B (custlnm), C (custsnm), D (adpdvn), E (custcls), F (custposted1), and G (custposted2). The data is as follows:

	A	B	C	D	E	F	G
1	custcd	custlnm	custsnm	adpdvn	custcls	custposted1	custposted2
2	0001	取引 先0001	取引 先0001	3	3		
3	0002	取引 先0002	取引 先0002	3	3		
4	0003	取引 先0003	取引 先0003	3	3		
5	0004	取引 先0004	取引 先0004	3	3		
6	0005	取引 先0005	取引 先0005	3	3		
7	0006	取引 先0006	取引 先0006	3	3		
8	0007	取引 先0007	取引 先0007	3	3		
9	0008	取引 先0008	取引 先0008	3	3		
10	0009	取引 先0009	取引 先0009	3	3		

The status bar at the bottom shows '編集' (Edit) and 'NUM'.

[著者情報]

作者：五十嵐貴之

URL : <http://www.ikachi.org/>

Copyright (c) いちちソフトウェア 2006-2011 All Rights Reserved.